



THE LOWRIDER CAR SHOW RULE BOOK (HYDRAULICS COMPETITION)

LOWRIDER OFFICE JAPAN INC.
〒107-0052 東京都港区赤坂4-5-21バルミー赤坂705
TEL 03-3583-4000 FAX 03-3583-4112
H.P <http://www.lowriderjapan.net/>
E-mail office@lowriderjapan.net

エントリー規程

エントリーする方は
必ずお読み下さい。

1. エントリー

- 1-1 エントリーアイテムは、「バンダース」 「SHOW CAR」 「HYDRAULICS COMPETITION」 の3部門です。エントリー用紙にご注意ください。
- 1-2 エントリー用紙は、エントリー車両1台につき1枚ご提出ください。
- 1-3 エントリー用紙には必要事項が全て記入されていることとし、エントリー受付期間内に郵送にて弊社に届いていることとします。

2. エントリーの受付期間

各ショーのエントリー募集の案内でご確認下さい。

3. エントリーフィー

エントリーフィーに含まれるものは下記の通りです。(税込)

【部門】 HYDRAULICS COMPETITION
エントリーフィーにスイッチマン・トランクマン及び作業者PASSは付きません。
別途御購入下さい。

【エントリーフィー】 12,000円
(PUMPS OR DUMPSのみ7,000円)

4. エントリーフィーの支払

- 4-1 エントリーフィーは事務局からの請求書により、期日までに現金書留による郵送または、下記銀行口座にお支払ください。
お振込先 ⇒ みずほ銀行 赤坂支店 普通 2167473
口座名：ローライダーカーショウ事務局
- 4-2 ショップまたはクラブ等でまとめたエントリーの場合は、エントリーフィーの支払は、一括振込をお願いいたします。

5. エントリーの受付

- 5-1 エントリー用紙の到着とエントリーフィーの入金をもって正式エントリーといたします。支払期日までにエントリーフィーの入金確認ができない場合はエントリーを取消したものとみなします。
- 5-2 エントリー受付の可否は、エントリー確認書によりご連絡いたします。エントリーの受付ができなかった場合、ご入金いただきましたエントリーフィーは振込手数料を差引お返しいたします。

6. キャンセル

- 6-1 エントリー用紙到着後のキャンセルは、事務局まで電話及び書面にてお申出ください。
- 6-2 ショー開催日の10日前までのキャンセルは、エントリーの事務経費として5,000円を差引いて開催日後にお返しいたします。
- 6-3 上記以降のキャンセルはエントリーフィーの返金は致しませんのでご了承ください。

7. エントリー受付の拒否

次の場合にはエントリーの受付をお断りいたします。

- 7-1 本ショーの基準に適さないとホッピングジャッジ委員会または事務局が判断した場合。
- 7-2 期日までにエントリーフィーの入金がされない場合。
- 7-3 エントリー用紙に記入していただくカスタマイズの内容が、実車と著しく異なる場合。
- 7-4 上記の場合、または、本ショーの品位、信用を著しく失墜させる行為、他人や車に迷惑をかけるなど（喧嘩等）があった場合、ショー当日でもエントリーをお断りすることがあります。また、以降のショーに出品（出店）をお断りします。

8. 受付・搬入

会場受付、搬入は会場により時間帯が異なります。エントリー募集時の御案内にて、搬入時間等ご案内させていただきます。（当日搬入のみの会場も有ります。）

9. その他

- 9-1 エントリー車の搬入に積載車を使用する場合、駐車券を発行いたします。必ずエントリー用紙にてお申込ください。駐車券のない場合、会場の駐車場は有料になります。
- 9-2 本 SHOW 参加にあたり、関連して起こった事故で自分の受けた、また相手に与えた損害について、主催者・係員・雇用者並びに他の参加者に対し非難・責任の追及・損害賠償等の要求は出来ません。自己の責任に於いて処理していただきます。事故が主催者・係員・雇用者の手違いなどに起因した場合であっても変わりません。従って、予め事故に対する保護措置を講じ、保険を掛ける等の措置をしてください。
- 9-3 事務局では、会場全体の管理に当たります。

PRO クラス PRIVATEER クラス クラス分け規程

エントリーする方は
必ずお読み下さい。

1. 該当カテゴリー

コンパクトシングル / コンパクト以外シングル / コンパクト、ラグジュアリー以外ダブル /
ラグジュアリーダブル / TRUCK シングル・ダブル / 対面バトルシングル・ダブル

2. クラス分け方法

2-1 PRO クラス

過去 SHOW にて、エントリーカテゴリーに入賞したスイッチマン又は車両

2-2 PRIVATEER クラス

過去 SHOW にて、エントリーカテゴリーに入賞していないスイッチマン及び車両
(ジャッジの判断で PRO クラスに変更する場合があります。)

※参加台数によりクラス分けをしない場合も有ります。

3. 車両規定

PRO クラス・PRIVATEER クラス共に、各カテゴリーの規定を使用します。

コンパクトシングル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、**スリーホイラー、空吹かし禁止。**(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを受け付けません。
7. スイッチマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いていること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から60秒以内で終了です。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとします。**
13. **トランクの鍵は必ず付けておいてください。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。**
15. **インテリアの取り外しは自由とします。**
16. **外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **足回りのパーツは全て純正部品を使用する事。**
19. **アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。**
20. **フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。**
21. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに1ポンプ、リアに1ポンプまでとし、
全ての hidroliks・セットアップはトランク内に収まっていること。
バッテリー数は8バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40 × 155 × 155 以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ 350mm までとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは 20 × 155 × c する。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

2-1 バッテリー

- (1) 全てのバッテリーは見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
バッテリー、ポンプは2段重ねしてはならない。
- (2) サイズ:USA 規格グループ 31(または、31 スタッド)及び日本の 95 サイズ相当とします。
- (3) 重量:1個 70 パウンド (31.75kg) 以内とします。
- (4) ラック:バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を **5cm** 以上越えてはならない。
材料は **5cm × 5cm × 6mm** 以下の Lアングルとし重ねて貼ってはならない。
材料が足りない場合は、50mm × 6mm のフラットバーを使用する。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
- ラック材料はLアングル (570cm) フラット (150cm)。ラック立上げは不可。
 - サブフレーム (前から後ろまで) レインフォース可。
 - フロントシリンダーマウント付近はレインフォース可 (9mm) リアのレインホースは可 (9mm 以下)。
 - フロントのみ材料問わずブリッジ可。
 - ハッチバックはカーゴスペースをトランクとみなす。
高さはサイドクォーターガラスの下面までとする。
 - アッパー延長は 3cm までとする。
 - リアシリンダーはリジット可。
- (5) バッテリー押さえ: **5cm × 3cm × 6mm** 以下の角パイプとする。底板は禁止します。

2-2

- (1) リアサスペンションパーツ(トレーディングアーム、ショック、スプリング他)とその取り付け位置の変更は不可。但し、リアアッパーアーム延長は **3cm** まで可。
- (2) アクスルハウジングの変更は不可。但し、ナロードは構いません。
ハウジングのレインフォースは可。(材料の指定はなし)
- (3) **純正のラテラルロッドを 5cm まで延長可。調整式不可。**
- (4) シリンダーマウントは純正の取り付け位置を超えてはならない。
- (5) ボディーリフト禁止。フレームベント不可。

- 2-3 フロントサスペンションアッパーアームはオリジナルを **3cm** まで延長しても構いません。
レインフォース可。フロントロアームの延長は不可。
アッパー・ロア共に **6mm** 厚以下で一面を残して（純正部分を証明する為）レインフォース可。
但し、アッパーアーム、ロアアームとも取付け位置の変更は不可。
フロントのディスクブレーキへの変更は可。
スタビライザーは自由とします。
- 2-4 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。**9mm** 厚以内の
鉄板をフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、
重ねて貼ってはならない。ロールゲージは可。マウント類はレインフォースの際に外して
はならない。
- 2-5 アキュムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用は禁止します。
- 2-6 エンジンルームバッテリーは正規の場所に固定してください。
- 2-7 全ての競技車両はオリジナルのエンジン・トランスミッション（V 6、V 8 等）または
同規格の積み替えでなければなりません。
もし問題がありそうな時は車検証またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-8 フロントまたはリアのタイヤは 225/75-15 サイズ以内（外径 720mm）とします。
- 2-9 エアーバルブ取り付けは不可。タンク内にエアー又は、ガス等を入れるのは禁止とします。

3. 競技規程

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下での平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、**ホッピング開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整または
ダンプバルブのロック解除などをしても構いませんが、ホッピング開始から 60 秒
たった時点で競技終了とします。**
- 3-4 ローライダーオフィスとホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を
持つものとします。
- 3-5 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

コンパクト以外シングル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、**スリーホイラー、空吹き禁止。**(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを受け付けません。
7. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いていること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から60秒以内で終了です。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとします。**
13. **トランクの鍵は必ず付けておいてください。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。**
15. **インテリアの取り外しは自由とします。**
16. **外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **足回りのパーツは全て純正部品を使用する事。**
19. **アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。**
20. **フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。**
21. **リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)**
22. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに1ポンプ、リアに2ポンプまでとし、全ての hidrolics・セットアップはトランク内に収まっていること。バッテリー数は8バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。**ニコイチタンクは不可。**
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40×155×155以内とする。材料は自由とします。エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ350mmまでとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは20×155×155以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

2-1 バッテリー

- (1) 全てのバッテリーは見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。バッテリー、ポンプは2段重ねしてはならない。
- (2) サイズ:USA規格グループ31(または、31スタッド)及び日本の95サイズ相当とします。
- (3) 重量:1個70ポンド(31.75kg)以内とします。
- (4) ベース:フレームからの立ち上げ部分をベースとします。材料は**5cm×5cm×6mm**以下の角パイプとします。
- (5) ラック:バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を**5cm**以上越えてはならない。材料は**5cm×5cm×6mm**以下のLアングルとし、重ねて貼ってはならない。材料が足りない場合は、50mm×6mmのフラットバーを使用する。(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)500cm以内のLアングルと**705cm**以内の角パイプとします。
- (6) バッテリー押さえ:**5cm×3cm×6mm**以下の角パイプとする。底板は禁止します。
- (7) 全ての車両にフラットバー(長さ2m幅5cm厚さ6mm)使用可。ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅100mmまで使用可。

2-2

- (1) リアサスペンションパーツ(トレーディングアーム、ショック、スプリング他)とその取り付け位置の変更は不可。但し、純正の一面を残してトレーディングアームのレインフォースは可。変形アームの使用不可
- (2) ショックアブゾーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で**74cm**を超えてはならない。
- (3) アクスルケースの変更は不可。**但し、ナロードは構いません。**ケースのレインフォースは可。(材料の指定はなし)
- (4) リアアッパーアームのマウントにシムを使用するのは不可。(変形したリアアッパーアームの使用禁止)ただし、リアアッパーアーム3cmまで延長可。
- (5) シリンダーマウントは純正の取り付け位置を超えてはならない。シリンダーマウントの取り付け位置は上下スプリングカップの中心であること。
- (6) フロント純正ロアアームの底面加工不可。
- (7) ボディーリフト禁止。**フレームベント不可。**

- 2-3 フロントサスペンションアッパーアームはオリジナルを **3cm** まで延長しても構いません。
レインフォース可。ロアーアームの延長及びコイルうけ部分の改造は不可。
アッパー・ロア共に **6mm** 厚以下で一面を残して(純正部分を証明する為)レインフォース可。
但し、アッパーアーム、ロアーアームとも取付け位置の変更は不可。
フロントのディスクブレーキへの変更は可。
スタビライザーは自由とします。
- 2-4 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。**9mm** 厚以内の**鉄板**を
フレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼っては
ならない。ロールゲージは可。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-5 アキュムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用は禁止します。
- 2-6 エンジンルームバッテリーは正規の場所に固定してください。
- 2-7 全ての競技車両はオリジナルのエンジン・トランスミッション(V 6、V 8 等)
または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は車検証
またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-8 フロントまたはリアのタイヤは 225/75-15 サイズ以内(外径 720mm)とします。
- 2-9 フレームに車検用の穴があること。
(リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること)
- 2-10 エアバルブ取り付け不可。タンク内にエア又はガス等を入れるのは禁止とします。
- 2-11 アッパーアーム、ロアアームの取り付け位置の変更は不可とします。
- 2-12 エンジンの取り付け位置は純正位置から変更してはいけません。

3. 競技規程

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下での平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、**ホッピング開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整または
ダンプバルブのロック解除などをしては構いませんが、ホッピング開始から 60 秒
たった時点で競技終了とします。**
- 3-4 ローライダーオフィスとホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を
持つものとします。
- 3-5 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

コンパクト、ラグジュアリー以外ダブル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを
受け付けません。
7. スイッチマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード
付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いてい
ること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60秒以内で終了です。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとします。**
13. **トランクの鍵は必ず付けておいてください。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。**
15. **インテリアの取り外しは自由とします。**
16. **外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **足回りのパーツは全て純正部品を使用する事。**
19. **アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は
同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。**
20. **フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。**
21. **リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)**
22. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに2ポンプ、リアに2ポンプまでとし、
全ての hidroliks・セットアップはトランク内に収まっていること。
バッテリー数は12バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40 × 155 × 155 以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ 350mm までとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは 20 × 155 × 155 以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

2-1 バッテリー

- (1) 全てのバッテリーは見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
バッテリー、ポンプは2段重ねしてはならない。
- (2) サイズ:USA 規格グループ 31(または、31 スタッド)及び日本の 95 サイズ相当とします。
- (3) 重量:1個 70 パウンド (31.75kg) 以内とします。
- (4) ベース: フレームからの立ち上げ部分をベースとします。
材料は **5cm × 5cm × 6mm** 以下の角パイプとします。
- (5) ラック: バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を **5cm** 以上越えてはならない。
材料は **5cm × 5cm × 6mm** 以下のLアングルとし重ねて貼ってはならない。
材料が足りない場合は、50mm × 6mm のフラットバーを使用する。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
600cm 以内のLアングルと **800cm** 以内の角パイプとします。
- (6) バッテリー押さえ: **5cm × 3cm × 6mm** 以下の角パイプとする。底板は禁止します。
- (7) 全ての車両にフラットバー (長さ 2m 幅 5cm 厚さ 6mm) 使用可。
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅 100mm まで使用可。

2-2

- (1) リアサスペンションパーツ(トレーディングアーム、ショック、スプリング他)とその取り付け位置の変更は不可。但し、純正の一面を残してトレーディングアームのレインフォースは可。変形アームの使用不可
- (2) ショックアブゾーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で 82cm を超えてはならない。
- (3) アクスルケースの変更は不可。**但し、ナロードは構いません。**
ケースのレインフォースは可。(材料の指定はなし)
- (4) リアアッパーアームのマウントにシムを使用するのは不可。(変形したりアアッパーアームの使用禁止) ただし、リアアッパーアーム 3cm まで延長可。
- (5) シリンダーマウントは純正の取り付け位置を超えてはならない。シリンダーマウントの取り付け位置上下はスプリングカップの中心であること。
- (6) フロント純正ロアアームの底面加工不可
- (7) ボディーリフト禁止。**フレームベント不可。**

- 2-3 フロントサスペンションアッパーアームはオリジナルを **3cm** まで延長しても構いません。レインフォース可。ロアアームの延長及びコイルうけ部分の改造は不可。アッパー・ロア共に **6mm** 厚以下で一面を残して（純正部分を証明する為）レインフォース可。但し、アッパーアーム、ロアアームとも取付け位置の変更は不可。フロントのディスクブレーキへの変更は可。スタビライザーは自由とします。
- 2-4 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。**9mm** 厚以内の**鉄板**をフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼ってはならない。ロールゲージは可。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-5 アキュムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用は禁止します。
- 2-6 エンジンルームバッテリーは正規の場所に固定してください。
- 2-7 全ての競技車両はオリジナルのエンジン・トランスミッション（V 6、V 8 等）または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は車検証またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-8 フロントまたはリアのタイヤは 225/75-15 サイズ以内（外径 720mm）とします。
- 2-9 フレームに車検用の穴があること。
（リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること）
- 2-10 エアバルブ取り付け不可。タンク内にエア又はガス等を入れるのは禁止とします。
- 2-11 アッパーアーム、ロアアームの取り付け位置の変更は不可とします。
- 2-12 エンジンの取り付け位置は純正位置から変更してはいけません。

3. 競技規程

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下での平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、ホッピング開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整またはダンパバルブのロック解除などをして構いませんが、ホッピング開始から 60 秒たった時点で競技終了とします。
- 3-4 ローライダーオフィスとホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
- 3-5 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。ただし、緊急の場合は可。

ラグジュアリーダブル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、**スリーホイラー、空吹き禁止。**(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを受け付けません。
7. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いていること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から60秒以内で終了です。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとします。**
13. **トランクの鍵は必ず付けておいてください。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。**
15. **インテリアの取り外しは自由とします。**
16. **外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **足回りのパーツは全て純正部品を使用する事。**
19. **アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。**
20. **フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。**
21. **リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)**
22. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに2ポンプ、リアに2ポンプまでとし、
全てのハイドロリクス・セットアップはトランク内に収まっていること。
バッテリー数は12バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40×155×155以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ350mmまでとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは20×155×155以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

2-1 バッテリー

- (1) 全てのバッテリーは見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
バッテリー、ポンプは2段重ねしてはならない。
- (2) サイズ:USA規格グループ31(または、31スタッド)及び日本の95サイズ相当とします。
- (3) 重量:1個70ポンド(31.75kg)以内とします。
- (4) ベース:フレームからの立ち上げ部分をベースとします。
材料は**5cm×5cm×6mm**以下の角パイプとします。
- (5) ラック:バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を**5cm**以上越えてはならない。
材料は**5cm×5cm×6mm**以下のLアングルとし重ねて貼ってはならない。
材料が足りない場合は、50mm×6mmのフラットバーを使用する。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
600cm以内のLアングルと**800cm**以内の角パイプとします。
- (6) バッテリー押さえ:**5cm×3cm×6mm**以下の角パイプとする。底板は禁止します。
- (7) 全ての車両にフラットバー(長さ2m幅5cm厚さ6mm)使用可。
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅100mmまで使用可。

2-2

- (1) リアサスペンションパーツ(トレーディングアーム、ショック、スプリング他)とその取り付け位置の変更は不可。但し、純正の一面を残してトレーディングアームのレインフォースは可。変形アームの使用禁止
- (2) ショックアブゾーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で82cmを超えてはならない。
- (3) アクスルケースの変更は不可。**但し、ナロードは構いません。**
ケースのレインフォースは可。(材料の指定はなし)
- (4) 変形したリアアッパーアームの使用禁止。純正ボルト及びナットを使用すること。
ただし、リアアッパーアーム3cmまで延長可。
- (5) シリンダーマウントは純正の取り付け位置を超えてはならない。
シリンダーマウントの取り付け位置上下はスプリングカップの中心であること。
- (6) フロント純正ロアアーム底面加工不可
- (7) ボディーリフト禁止。**フレームベント不可。**

- 2-3 フロントサスペンションアッパーアームはオリジナルを **3cm** まで延長しても構いません。
レインフォース可。ロアーアームの延長は不可。
アッパー・ロア共に **6mm** 厚以下で一面を残して（純正部分を証明する為）レインフォース可。但し、アッパーアーム、ロアーアームとも取付け位置の変更は不可。
フロントのディスクブレーキへの変更は可。スタビライザーは自由とします。
- 2-4 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。**9mm** 厚以内の**鉄板**をフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼ってはならない。ロールゲージは可。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-5 アキュムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用は禁止します。
- 2-6 エンジンルームバッテリーは正規の場所に固定してください。
- 2-7 全ての競技車両はオリジナルのエンジン・トランスミッション（V 6、V 8 等）
または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は車検証
またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-8 フロントまたはリアのタイヤは 225/75-15 サイズ以内（外径 720mm）とします。
- 2-9 フレームに車検用の穴があること。
（リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること）
- 2-10 エアバルブ取り付け不可。タンク内にエア又はガス等を入れるのは禁止とします。
- 2-11 アッパーアーム、ロアーアームの取り付け位置の変更は不可とします。
- 2-12 エンジンの取り付け位置は純正位置から変更してはいけません。

3. 競技規程

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下の平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
**ただし、ホッピング開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整または
ダンプバルブのロック解除などをしても構いませんが、ホッピング開始から 60 秒
たった時点で競技終了とします。**
- 3-4 ローライダーオフィスとホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を
持つものとします。
- 3-5 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

TRUCK シングル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹かし禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを
受け付けません。
7. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード
付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いてい
ること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60秒以内で終了です。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとします。**
13. **トランクの鍵は必ず付けておいてください。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。**
15. **インテリアの取り外しは自由とします。**
16. **外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **足回りのパーツは全て純正部品を使用する事。**
19. **アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は
同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。**
20. **フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。**
21. **リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)**
22. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに1ポンプ、リアに2ポンプまでとし、全てのハイドロリクス・セットアップはトランク内に収まっていること。バッテリー数は8バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40 × 155 × 155 以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ 350mm までとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは 20 × 155 × 155 以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

- 2-1 バッテリー
 - (1) 競技車両は瞬時にかつ安全にバッテリーをカットできるようにすること。
全てのバッテリーは、見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
 - (2) サイズ：USA 規格グループ 31(または、31 スタッド)及び日本の 95 サイズ相当とします。
 - (3) 重量：1個 70 パウンド (31.75kg) 以内とします。
 - (4) ベース：フレームからの立ち上げ部分をベースとします。材料は **5cm × 5cm × 6mm** 以下の角パイプとします。
 - (5) ラック：バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を **5cm** 以上超えてはならない。
材料は **5cm × 5cm × 6mm** 以下のLアングルとし、重ねて貼ってはならない。材料が足りない場合は**フラットバー (長さ 2m 幅 5cm 厚さ 6mm) 使用可。**
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅 100mm まで使用可。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
 - (6) シングルポンプ
405cm 以内のLアングルと 410cm 以内の角パイプとします。
 - (7) 全ての車両にフラットバー (長さ 2m 幅 5cm 厚さ 6mm) 使用可。
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅 100mm まで使用可。
- 2-2 バッテリーとポンプのセットについて
バッテリーを重ねないで1段のセットとし、高さはベッドのサイドパネル以内としてください。
- 2-3 リアサスペンションコンポーネント(トレーディングアーム、ショックアブソーバー、リーフスプリング等)のマウント位置の変更は不可。リーフスプリング及び、シャックルは純正を使用し、フロント、リアとも純正のマウント位置に接続されていること。
ただし純正のシャックルを 5cm 延長可。
- 2-4 変形アーム(アッパーアーム・ロアアーム・リーフスプリング)不可。ただし、アクセルケースの取り付け位置は純正リーフの取り付け位置から前後 5cm まで変更可。
- 2-5 リアのシリンダーマウントはフレームの上面を越えても構いません。
- 2-6 フロントサスペンションアッパーアームは **3cm** 延長しても構いません。
レインフォース可。ロアアームの延長は不可。**6mm** 厚以下で一面を残して(純正部分を証明する為)アッパーアーム・ロアアームのレインフォース可。
スタビライザーは自由とします。
- 2-7 フロントのシリンダーマウントにはブリッジを追加しても構いません。
ただし、ボンネットに穴を開けることは不可。
- 2-8 ボディーリフト禁止。**フレームベント不可。**
- 2-9 フロント・アッパー A アームはオリジナルを使用して **3cm** まで延長しても構いません。

- アッパーアーム取付位置の変更は不可。**材料は9mm以下の鉄板に限りレインフォース可。**
ただし、一面は外側純正部分を残すこと。アッパーアームのはみ出したレインフォースは不可。
- 2-10 フロントのスタビライザーの取り外しは自由。
- 2-11 **フロントタワー上面は取付け位置自由とする。**
- 2-12 ロアアームの変更は不可。長さ及び取付位置の変更は不可。ロアアームのコイルの取付位置の深さはオリジナルの底面までとする。ロアアームは**6mm**厚以内で、純正部分一面を残してレインフォース可。
- 2-13 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。**9mm**厚以内のフラットバーをフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて貼ってはならない。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-14 アキュムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用禁止。タンク内にエアやガス等を入れるのは禁止とします。エアバルブの取り付け禁止。
- 2-15 エンジンルームのバッテリーは正規純正の場所で固定されていること。
- 2-16 全てのトラックはオリジナルのエンジン・トランスミッション(V8、V6、6、4等)または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は、車検証またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-17 トップを切る場合は、切口の処理がしてあれば可。
ただし、外したトップは取付けられるようになっていること。
- 2-18 フロントまたはリアのタイヤは225/75×15サイズ以内(外径720mm)とします。
- 2-19 フレームに車検用の穴があること。
(リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること)
- 2-20 スペアタイヤは取り付け禁止。
- 2-21 **路面に対して垂直にシリンダーが立っていなければならない。**
- 2-22 **リアはリジット可。**
- 2-23 リアショックアブソバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で74cmを超えてはならない。

3. 競技規程

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ2本の下で平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの2名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、**ホッピング開始から60秒間はトランクを開けてポンプの調整またはダンプバルブのロック解除などをしても構いませんが、ホッピング開始から60秒たった時点で競技終了とします。**
- 3-4 ローライダーオフィスとホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
- 3-5 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

TRUCK ダブル

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを
受け付けません。
7. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード
付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いてい
ること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60秒以内で終了です。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとします。**
13. **トランクの鍵は必ず付けておいてください。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。**
15. **インテリアの取り外しは自由とします。**
16. **外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **足回りのパーツは全て純正部品を使用する事。**
19. **アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は
同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。**
20. **フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。**
21. **リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)**
22. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. エントリー分類

- 1-1 エントリー車両は、フロントに2ポンプ、リアに2ポンプまでとします。
全てのハイドロリクス・セットアップはトランク内に収まっていること。
バッテリー数は8バッテリーまでとします。
- 1-2 1ポンプとは、1モーター、1ブロック、1ポンプヘッド、1タンクとする。
ニコイチタンクは不可。
- 1-3 陸運局、DMV(アメリカの陸運局)の登録によってカーまたはトラックを分けるものとします。
- 1-4 ポンプブロックサイズは、40 × 155 × 155 以内とする。材料は自由とします。
エアーバルブ取り付けは不可。
- 1-5 ポンプタンクサイズは、長さ 350mm までとする。材料は自由とする。
- 1-6 バックプレートサイズは 20 × 155 × 155 以内とする。材料は自由とする。
- 1-7 モーターエンドキャップは、純正又はアルミエンドキャップとする。
- 1-8 ピストンポンプは使用不可。

2. 車両改造及び使用部品規程

- 2-1 バッテリー
 - (1) 競技車両は瞬時にかつ安全にバッテリーをカットできるようにすること。
全てのバッテリーは、見えるように固定、接続し、重ねて積んではならない。
 - (2) サイズ：USA 規格グループ 31(または、31 スタッド)及び日本の 95 サイズ相当とします。
 - (3) 重量：1個 70 パウンド (31.75kg) 以内とします。
 - (4) ベース：フレームからの立ち上げ部分をベースとします。材料は **5cm × 5cm × 6mm** 以下の角パイプとします。
 - (5) ラック：バッテリー及びポンプを組み込む部分をラックとします。
バッテリーラックは全てのバッテリーの側面を **5cm** 以上超えてはならない。
材料は **5cm × 5cm × 6mm** 以下のLアングルとし、重ねて貼ってはならない。材料が足りない場合は**フラットバー (長さ 2m 幅 5cm 厚さ 6mm) 使用可。**
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅 100mm まで使用可。
(バッテリーラックの両端。ポンプのマウントなど)
 - (6) ダブルルポンプ
485cm 以内のLアングルと **440cm** 以内の角パイプとします。
 - (7) 全ての車両にフラットバー (長さ 2m 幅 5cm 厚さ 6mm) 使用可。
ただし、プレストライトソレノイドブラケットのみ幅 100mm まで使用可。
- 2-2 バッテリーとポンプのセットについて
バッテリーを重ねないで1段のセットとし、高さはベッドのサイドパネル以内としてください。
- 2-3 リアサスペンションコンポーネンツ(トレーディングアーム、ショックアブソーバー、リーフスプリング等)のマウント位置の変更は不可。リーフスプリング及び、シャックルは純正を使用し、フロント、リアとも純正のマウント位置に接続されていること。
ただし純正のシャックルを 5cm 延長可。
- 2-4 変形アーム(アッパーアーム・ロアアーム・リーフスプリング)不可。ただし、アクセルケースの取り付け位置は純正リーフの取り付け位置から前後 5cm まで変更可。
- 2-5 リアのシリンダーマウントはフレームの上面を越えても構いません。
- 2-6 フロントサスペンションアッパーアームは **3cm** 延長しても構いません。レインフォース可。
ロアアームの延長は不可。**6mm** 厚以下で一面を残して(純正部分を証明する為)
アッパーアーム・ロアアームのレインフォース可。スタビライザーは自由とします。
- 2-7 フロントのシリンダーマウントにはブリッジを追加しても構いません。
ただし、ボンネットに穴を開けることは不可。
- 2-8 ボディーリフト禁止。**フレームベント不可。**

- 2-9 フロント・アッパー A アームはオリジナルを使用して **3cm** まで延長しても構いません。
アッパーアーム取付位置の変更は不可。材料は **9mm 以下の鉄板に限りレインフォース可**。
ただし、一面は外側純正部分を残すこと。
アッパーアームのはみ出したレインフォースは不可。
- 2-10 フロントのスタビライザーの取り外しは自由。
- 2-11 **フロントタワー上面は取付け位置自由とする。**
- 2-12 ロアアームの変更は不可。長さ及び取付位置の変更は不可。ロアアームのコイルの
取付位置の深さはオリジナルの底面までとする。
ロアアームは **6mm** 厚以内で純正部分一面を残してレインフォース可。
- 2-13 レインフォース以外のウェイトをフレームに加えてはならない。 **9mm** 厚以内の
フラットバーをフレームに貼ることはできますが、フレームの外にはみだしたり、重ねて
貼ってはならない。マウント類はレインフォースの際に外してはならない。
- 2-14 アキュムレーターや、その他のコンプレッサー等の使用禁止。タンク内にエアや
ガス等を入れるのは禁止とします。エアーバルブの取り付け禁止。
- 2-15 エンジンルームのバッテリーは正規純正の場所で固定されていること。
- 2-16 全てのトラックはオリジナルのエンジン・トランスミッション (V8、V6、6、4 等)
または同規格の積み替えでなければなりません。もし問題がありそうな時は、
車検証またはピンクスリップ等で証明することとします。
- 2-17 トップを切る場合は、切口の処理がしてあれば可。
ただし、外したトップは取付けられるようになっていること。
- 2-18 フロントまたはリアのタイヤは 225/75 × 15 サイズ以内 (外径 720mm) とします。
ワイヤーホイール使用の事。
- 2-19 フレームに車検用の穴があること。
(リアシリンダーマウントより後方でフレームの中が見えること)
- 2-20 スペアタイヤは取り付け禁止。
- 2-21 **路面に対して垂直にシリンダーが立っていなければならない。**
- 2-22 **リアはリジット可。**
- 2-23 シェル装着可、但しセットアップはベット内におさめる事。
- 2-24 リアショックアブソーバーの長さはリアエンドをロックアップした状態で 82cm を超えては
ならない。

3. 競技規程

- 3-1 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ 2 本の下の平均で測定します。
- 3-2 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-3 スイッチマンとトランクマンの 2 名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ただし、**ホッピング開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整または
ダンプバルブのロック解除などをして構いませんが、ホッピング開始から 60 秒
たった時点で競技終了とします。**
- 3-4 ローライダーオフィスとホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を
持つものとします。
- 3-5 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

CAR & TRUCK DANCING

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを
受け付けません。
7. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード
付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いてい
ること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60秒以内で終了です。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとします。**
13. **トランクの鍵は必ず付けておいてください。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。**
15. **インテリアの取り外しは自由とします。**
16. **外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **足回りのパーツは全て純正部品を使用する事。**
19. **アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は
同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。**
20. **フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。**
21. **リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)**
22. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. クラス

【クラス】	【ポンプ数】	【バッテリーの制限】
ストリートクラス・・・	4個以下・・・	なし
ラディカルクラス・・・	5個以上・・・	なし

2. 車両改造及び使用部品規程

- 2-1 トラックは瞬時にかつ安全にバッテリーをカットできるようになっていること。
- 2-2 ワイヤホイールをはかなければならない。
- 2-3 ポンプ及びバッテリーは、トランク又はベツト内におさめる事。

3. 競技規定及び審査

審査方法・・・ホッピングジャッジ委員会より3名のジャッジがそれぞれスピード、リズム、スタイルを各10ポイントで審査し合計90ポイントで順位を決定します。

- 3-1 カー&トラックダンシングは1ラウンドのみの競技となります。
- 3-2 全ての車両はスピード、リズム、スタイルで審査されます。
- 3-3 競技者は好みの曲で(原則として持ち込みに限る)競技することができます。
- 3-4 全ての車両はダンシングエリアに自走で入場しなければなりません。押して入場した場合は失格となります。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-5 スイッチマンと助手1名のみダンシングエリアに入場することができます。
- 3-6 あなたの名前と番号が呼ばれた後、1分以内に返事をして開始すること。できない場合は失格となります。ホッピングジャッジ委員会はオフィシャルタイムキーパーを用意します。
- 3-7 **ストリートクラス**
1ラウンドは90秒以上で1ラウンドとします。オフィシャルタイムキーパーは競技者に90秒経過を知らせます。
- 3-8 **ラディカルクラス**
1ラウンドは120秒以上で1ラウンドとします。オフィシャルタイムキーパーは競技者に120秒経過を知らせます。
- 3-9 **ストリートクラス**
90秒以内に車両が壊れた場合は失格となります。また、車両がフィッティングを飛ばしたり、ホース又はシリンダーからオイルがおびただしく漏れた場合は失格となります。
- 3-10 **ラディカルクラス**
120秒以内に車両が壊れた場合は失格となります。また、車両がフィッティングを飛ばしたり、ホース又はシリンダーからオイルがおびただしく漏れた場合は失格となります。
- 3-11 ホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
- 3-12 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない、触れた場合失格となります。ただし、緊急の場合は可。

BED - DANCING

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、危険車両を
出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを
受け付けません。
7. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード
付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイン
トは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違い
は禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いてい
ること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができます。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から
60秒以内で終了です。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとします。**
13. **トランクの鍵は必ず付けておいてください。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とします。**
15. **インテリアの取り外しは自由とします。**
16. **外装パーツの取り外し、変更は不可です。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **足回りのパーツは全て純正部品を使用する事。**
19. **アーム類のブッシュ、ボールジョイントはフロント・リア共に原則として純正品又は
同等品とし、故意に潰したりカラーを抜いたりした物は不可とします。**
20. **フロント・リア共にワイヤーホイールを必ず装着すること。**
21. **リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置の変更不可)**
22. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. クラス

【ストリートクラス】・・・4ステージ以下

【ラディカルクラス】・・・5ステージ以上、
またはスピン（トランスフォーマー含む）合体ベット等

2. 車両改造及び使用部品規程

- 2-1 ポンプ、ホースの数量の制限は有りません。
- 2-2 バッテリー数量の指定も有りませんが、セットされたバッテリーはすべて使用されていること。また、車の一部になっていることとします。
- 2-3 トラックは瞬時にかつ安全にバッテリーをカットできるようになっていること。
- 2-4 ワイヤホイールをはかなければならない。

3. 競技規定及び審査

審査方法・・・ホッピングジャッジ委員会より3名のジャッジがそれぞれスピード、リズム、スタイルを各10ポイントで審査し合計90ポイントで順位を決定します。

- 3-1 ベッドダンシングは1ラウンドのみの競技となります。
- 3-2 全てのトラックはスピード、リズム、スタイルで審査されます。
- 3-3 競技者は好みの曲で（原則として持ち込みに限る）競技することができます。
- 3-4 全てのトラックはダンシングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合は失格となります。競技後は押して退場しても構いません。
- 3-5 スイッチマンと助手1名のみダンシングエリアに入場することができます。
- 3-6 あなたの名前と番号が呼ばれた後、1分以内に返事をして開始すること。できない場合は失格となります。ホッピングジャッジ委員会はオフィシャルタイムキーパーを用意します。
- 3-7 1ラウンドは90秒以上で1ラウンドとします。
オフィシャルは競技者に90秒経過を知らせます。
- 3-8 90秒以内にトラックが壊れた場合は失格となります。また、トラックがフィッティングを飛ばしたり、ホース又はシリンダーからオイルが漏れた場合は失格となります。
- 3-9 ホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
- 3-10 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合失格となります。
ただし、緊急の場合は可。

HOPPING BUTTLE

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。固定できない場合は出場停止とします。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、及び危険車両に対しその車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを受け付けません。
7. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。** ボディー等に落書きは禁止します。
8. ストリートで通常走行が可能なパーツが付いていること。
(エンジンパーツ・ブレーキ等)
9. 車検証に記載されているエンジンが付いていること。
10. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
11. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができる。
12. **アースコードは速やかにカットできるものとする。**
13. **トランクの鍵はつけておくこと。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とする。**
15. **インテリアは取り外し不可。**
16. **外装パーツは取り外し、変更は不可。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. **フロント・リア共にワイヤーホイールを装着すること。**
19. リアショックは必ず取り付けること。(取り付け位置変更不可)
20. エンターテインメント競技の為、高さ・リズム・スタイルなどで審査します。
21. 事前車検をスタートする30分前に行ないます。オーナーは車検に立ち会えるようにして下さい。立ち会えない場合は出場停止にします。
22. **ジャッジの判断にてウェイトと見なされるものは不可。**

1. クラス

【クラス】 【ポンプ数】 【バッテリー数】

シングル・・・1ポンプ・・・8個以下・・・コンパクト・トラックは6個以下

ダブル・・・2ポンプ・・・12個以下・・・コンパクトは8個以下、トラックは6個以下

タンクにエア及び、ガス等を入れる場合、エアゲージを要する。タンク内のエア及び、ガスは3kg以下とします。

2. 出場条件

日本の陸運局登録車両でナンバープレートが付いてる車。

車検の切れてる車両は、仮ナンバー（臨時運行許可番号票）でも可。

USナンバープレート、プレート無しは不可。

3. その他

3-1 ホイール

○ワイヤーホイールを装着。

3-2 タイヤ

○サイズは、185×75×14／520×14以内。

3-3 スイッチは固定すること。**スイッチ固定はダッシュ板以外は不可。**

3-4 リアエンド変更可。

あまりにもストリートに適していないとジャッジが判断した場合、エキシビション、若しくは出場停止になることもあります。

3-5 競技時間は40秒とします。決勝は60秒とします。

3-6 競技はトーナメント方式で行います。

3-7 車検は搬入時に行い、出場停止車両は参加できません。（エントリーフィーは返却致しません。）

3-8 募集台数は**各クラス16台**とし、台数になり次第締め切ります。

3-9 競技中の衝突等の事故が起きた場合、弊社は一切の責任を負いません。

3-10 勝敗の決定は、観客の拍手及びジャッジが決定いたします。

相手の様子を窺いながら競技をしている場合減点対象になります。

決定に関しての異議は受け付けません。

3-11 トランクマンは競技中に車両に触れてはならない。触れた場合エキシビションとなります。

ただし、スイッチ時のドアおさえ及び、緊急の場合は可。

3-12 ジャッチの判断でストリート性、安全性に欠けると判断した場合は、

対面ではなくエキシビションクラスに変更します。

その際の異議申し立ては、一切受け付けません。

アンリミテッド

基本ルール

1. ピットエリアには、エントリー車両のみ入れます。
また、**スイッチマン、トランクマンのみ入場できます。**
2. **メインのバッテリーを固定すること。**
3. 全ての競技車両はしっかりとガソリンキャップを閉めること。
ホッピングジャッジ委員会はひどいオイル、ガソリン漏れ、及び危険車両に対しその車両を出場停止にすることができるものとします。
4. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、
スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
5. ホッピングジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
6. エントリー用紙の参加契約書に印鑑または、サインがない場合はエントリーを受け付けません。
7. スwitchマンは必ず車外に立ち、車のドアを閉めること。スイッチは、コード付きの1スイッチフロントだけとします。
8. 全てのエントリー車両はプロ並のペイント(サフェーサー、缶スプレーペイントは不可)がされていることとし、**ボンネット、トランク、フェンダー色違いは禁止とします。ただし、カスタムペイントは可。**
自走可能でブレーキがきくこと。ボディー等に落書きは禁止します。
車検証またはピンクスリップに記載されているエンジン、ブレーキが付いていること。
9. 全てのクラスにおいて勝者は車のオーナーでもショップでもなく
“スイッチマン”となる。エントリーもスイッチマンの名で行われること。
10. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができる。
11. **エンジン停止後30秒以内にホッピングを開始し、ホッピング開始から60秒以内で終了する。**
12. **アースコードは速やかにカットできるものとする。**
13. **トランクの鍵はつけておくこと。**
14. **車検の立会はスイッチマンとトランクマンのみ可とする。**
15. **インテリアは取り外し自由。**
16. **外装パーツは取り外し、変更は不可。[例：エフアールピーに変更不可]**
17. **全ての参加者は安全性を充分考慮し製作すること。**
18. フロント・リア共にワイヤーホイールを装着すること。
19. 事前車検をスタートする30分前に行ないます。オーナーは車検に立ち会えるようにして下さい。立ち会えない場合は出場停止にします。

出場条件

1. ハイドロリクス・セットアップは車枠内に収めること。
(車枠とは、あくまでもボディーの中に限定します。)
2. エリア内に自走で入場し、転回、停止できること。
3. ポンプ、バッテリーは実動すること。
4. タイヤサイズは外径 750mm までとする。ワイヤーホイール使用。
5. フレームサスペンションは自由とする。
6. 事前車検とし、安全性が認められない場合、競技に参加できません。
7. ガラス及び灯火類の飛散防止の措置をとること。(フィルム、テープ等)
8. タンクにエア及び、ガス等を入れる場合、エアゲージを要する。タンク内のエア及び、ガスは3kg以下とします。

競技規程

1. 車両のホッピングの高さはフロントタイヤ2本の下の平均で測定します。
2. 全ての競技車両はホッピングエリアに自走で入場しなければなりません。
押して入場した場合はエキシビションとします。競技後は押して退場しても構いません。
3. スイッチマンとトランクマンの2名のみホッピングエリアに入場できます。
アースをつなぐ以外の調整等の作業は原則的に入場前に済ませておくこと。
緊急時を除いて、エリア内ではトランクは閉じていること。
ホッピング開始から 60 秒間はトランクを開けてポンプの調整またはダンプバルブのロック解除などをしても構いません。ただし、ホッピング開始から 60 秒たった時点で競技終了とします。
4. 競技外のエキシビション参加車両には、車両改造及び使用部品規定は適用いたしません。
5. ローライダーオフィスとホッピングジャッジ委員会が全ての審査において決定権を持つものとします。
6. トランクマンは競技中に車両に触れてはならない、触れた場合エキシビションとなります。
ただし、緊急の場合は可。

PUMPS OR DUMPS

(How much inch do you hop?)

ランキングを設けず、高さの計測のみを行なうカテゴリーです。
ビギナーの方も参加しやすいのが特徴です。

エントリー規定及び基本ルール

1. すべてのパーツが固定されていること。
2. アースコードは速やかにカット出来るものとする。
3. ワイヤホイールを装着すること。
4. 制限時間は30秒とする。
5. 車両入場は自走転回出来ること。
6. ポンプエア及びガスを入れても良い。
但し、エアゲージを要することとし、エア及びガス量は3kg以下とする。
7. ショーにおいて(コンテスト前、最中、後も全て)ローリングホップ、スリーホイラー、空吹き禁止。(出場停止にします)
8. ジャッジが危険な車両とみなした場合は、競技を中止することができる。
ジャッジに対して、異議申し立ては、一切受け付けしません。
9. フロントガラスにポンプ数、バッテリー数、インチ数を記入出来ること。
10. エントリー用紙にアピールポイント、ポンプ数、バッテリー数を記入すること。
11. エントリーは先着順とし、台数は10台を以て締切りとします。